

参考資料

1. 大会の目的・趣旨

本大会は、平成14年に松江市で開催された第23回国際宇宙技術及び科学の国際シンポジウム（ISTS）のプレイベントとして開催して以来、今年度で18回目の開催となります。

この大会の開催を通じて、子どもたちがペットボトルロケットの原理を学習したり、ロケットの製作を体験したりすることによって、子どもたちの宇宙や科学への興味、関心を高めることを目的としています。

2. 参加予定

松江市内小学生約80名の子どもたちが参加します。

3. ルール

・個人戦（1～3年生の部、4～6年生の部）

当日作成したペットボトルロケットを打ち上げ、飛距離を競います。各部出場者のうち1～3位の児童にメダル、賞状及び記念品を贈呈します。

4. ペットボトルロケットについて

物体に力を加えると、必ずその反対方向にも同じ大きさの力で押し返す力が働きます（作用と反作用）。ペットボトルロケットは、この力を利用します。

ペットボトルロケットに少量の水を入れ、ポンプで空気を送り込み中の空気を圧縮して発射すると、水が後ろへ勢いよく噴射します。同時に、ロケットを前方へ押し出す力が生じるため、前方へ向かって加速し、勢いよく飛んでいきます。

本物のロケットもこの作用・反作用の原理を利用して、燃料を燃やして空気を加熱・膨張させ噴射することにより飛んでいます。水を利用したペットボトルロケットにより、この原理を安全に学ぶことができます。

☆昨年度の様子

